

平成20年度 地方の元気再生事業 事業実施調書

(1) 取組名	日光～会津観光軸元気再生プロジェクト			
(2) 実施団体名	日光市、南会津町、下郷町、会津若松市	(3) 対象地域	栃木県日光市・福島県南会津町・福島県下郷町・福島県会津若松市	
(4) 代表団体名	日光～会津観光軸元気再生プロジェクト協議会	(5) 推薦団体名	—	
(6)実施した取組み内容	取組①	日光～会津観光軸プレ活性化実験の実施		
	実施主体	日光～会津観光軸元気再生プロジェクト協議会		
	実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果	
		①「水陸両用バス」の運行に関して、交通機関の割引切符、沿線施設の周遊・割引券を開発し、宿泊客・周遊客の増加を図る。 ②「東武の会津」プロジェクトの強化を行うとともに、周辺地域の二次交通（タクシー、バスのルート開発等）を地域一体で行い、地域全体の回遊客を増大させる。 ③JR東日本では、「日光・会津街道物語」キャンペーンを開始し、首都圏を中心に日光～会津観光軸のPR、集客の強化を図る。	①周辺4施設、4商店と連携し割引制度を導入した。水陸両用バス乗車数昨年比約38%増加、アンケートの結果乗客の53%が当該地域に宿泊していることから宿泊客の増加に寄与したと思われる。 ②「東武の会津」チケット購入者が4月～9月の間で昨年比14%増加 ③「日光・会津街道物語」を開発し新たな交通流動を創造することができた。	
	取組②	日光～会津観光軸戦略会議(キックオフ会議)の実施		
	実施主体	日光～会津観光軸元気再生プロジェクト協議会		
	実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果	
		日光～会津観光軸戦略会議(キックオフ会議)を開催し、観光軸の形成に向けた議論を開始。また戦略会議の内容を地方紙に掲載し、地域全体に日光～会津観光軸形成の動きをPRする。	キックオフ会議を11月に開催し、地方紙への掲載を予定していたが協議会において議論を進めるにつれて、協議会にて実施する来年度以降のプロジェクトを議論する上で、議論の中身を充実させるために、基本コンセプトの整理や現地資源の開拓を実施した方が将来的に有効であるとして、昨年10月協議会設立時に方向を転換した。また、シンポジウム(キックオフ会議及び首長サミット)を首都圏からの誘客を図るための広報戦略と位置づけるため、シンポジウムは2月10日に実施する沿線首長サミットに絞り、全国紙への新聞掲載を実施する事に方向転換を行った。	
	取組③	日光～会津観光軸戦略検討合宿		
	実施主体	日光～会津観光軸元気再生プロジェクト協議会		
	実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果	
		日光～会津観光軸の形成に向け具体施策の検討を2日間の合宿方式で議論する。採択された事業は平成21年度に開始。議論には地元大学の専門家等にファシリティータを依頼し、地域にあった活性化策を討議。協議会の全主体が参画して実施する21年度からの大キャンペーン・プロジェクトを検討。	11月18・19日に第一回戦略検討合宿を実施した。38団体延べ101人が2日間にわたり来年度以降に実施するプロジェクトについて討論し、23プロジェクトの実施を検討した。第二回戦略合宿は1月28・29日に開催を予定している。	
取組④	日光～会津観光軸首長サミット			
実施主体	日光～会津観光軸元気再生プロジェクト協議会			
実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果		
	日光～会津観光軸の沿線4市町長が平成21年度実施する大キャンペーン・プロジェクトについて発表するほか、今後長期にわたる取組方針について議論を行う。	2月10日に日光市藤原総合文化会館で実施を予定している。サミットでは4首長がそろって広域観光軸形成及び来年度実施するプロジェクトの発表を行う。サミットの再録記事は「発地」での広報効果をねらい全国紙への新聞掲載を予定している。		

(7)実施体制	平成20年度の取組実施における体制・役割分担		取組の実施を踏まえた反省点
	<ul style="list-style-type: none"> 日光～会津観光軸元気再生プロジェクト協議会 45団体(委員31団体・オブザーバー14団体)で構成され役割を分担 4首長: 日光市・南会津町長・下郷町長・会津若松市長(主担当:取組④) 協議会全体の総括を行うと共に各取組の管理を行うほか、関係者間の調整を担当。特に日光市観光課は協議会事務局を担当している。 交通関係者(主担当:取組①) 鉄道事業者5社、道路管理者2社、旅行会社2社 観光客誘致キャンペーンの実施 観光事業関係者(主担当:取組③) 観光協会等9団体、旅館組合2団体、オブザーバー14団体 次年度以降の実施プロジェクトを検討。周遊・割引切符開発、統一マップ作成検討、地域資源開発検討調査を実施 		<ul style="list-style-type: none"> 取組④「日光～会津観光軸首長サミット」は日光～会津観光軸元気再生プロジェクトの方向性を世間一般に示す最初のセレモニーである。今後の観光軸形成のため効果的に運営・PRを実施しなければならない。 取組①各事業者(東武トラベル、JR東日本、湯西川ダム工事事務所)ごとの取組であったが、来年度以降は他団体を含めて相互に連携した事業を実施することで参加者を増やし、更なる交流人口の増加に繋げたい。 取組③協議会関係者を一同に集め、基本コンセプト及び次年度以降のプロジェクト案を討議・検討した。提案されたプロジェクトは事業実施主体を定めて役割分担を行うことで、円滑な事業実施体制を整えている。今後はプロジェクトの進捗を管理し、事業実施に向けた効果的なサポートを行う必要がある。
(8)取組により得られた成果	○成果1→ 交流人口の増加(各機関で実施している取組を協議会全構成員で支援)		
	H19		H20(当初予定していた目標)
	「東武の会津」利用者 利用者10,000人		東武グループで実施する「東武の会津」利用者 20%増加
	JR東日本は今年より事業開始		JR東日本で実施する「日光～会津街道物語」利用者 3000人
	「水陸両用バス」 乗客11,136人		日光市で実施する「水陸両用バス」乗客数 5%増加
	H20(実際に得られた成果)		
	<ul style="list-style-type: none"> 東武の会津参加者約14%増加(上半期4月から9月実績) JR東日本「日光～会津街道物語」を開発し、新たな観光流動を作り出すことに成功した。また、「駅からハイキング」を実施し好評を得た。 水陸両用バス乗客約40%増加 		
	○成果2→ 観光客の増加 主要温泉宿泊者数(鬼怒川、川治、湯西川、湯野上、芦の牧、東山)の増加 観光客入込者数(日光市、南会津町、下郷町、会津若松市)の増加		
	H19		H20(当初予定していた目標)
	宿泊者数合計 3,262,538人		宿泊者数(H19 比):H20・・・2%増、H21・・・5%増、H22・・・8%増
入込者数合計 17,970,510人		入込客数(H19 比):H20・・・2%増、H21・・・5%増、H22・・・8%増	
H20(実際に得られた成果)			
平成20年宿泊者数、及び入込者数共に各市町にて集計ができていないため、現時点での成果は未定。3月上旬には確定する予定			
(9)今年度の取組成果や活動を踏まえた反省点、改善点	今年度は日光～会津観光軸元気再生プロジェクト協議会を設立し、45団体関係者が地域や官民の垣根を越えて観光軸形成のために、来年度以降に実施するプロジェクトの検討を行った。戦略検討合宿ではプロジェクト全体の共通コンセプト協議を行いコンセンサスをとることができた。また、来年度以降の実施事業について検討を行ったことで、実施事業の周知及び準備ができた。今後は事業を進めるにあたり事業実施主体が円滑に進めることができるようにサポート体制を整え、スケジュール管理及び効果測定を実施しなければならない。		

	当初提案に予定していた平成21年度以降の展開	今年度の取組状況を踏まえた平成21年度以降の活動の見込みと活用を希望する支援制度
(10)平成21年度以降の活動の見込み	プロジェクトの本格的な事業展開	<p>今年度協議会で採択されたプロジェクトを実現させ交流人口の増加を図る。</p> <p>1 「日光～会津ぐるっとカード事業」 ・実施主体:東武・野岩・会津鉄道 ・内容:日光地域と会津地域における公共交通機関(鉄道・バス・タクシー)の乗降車フリー切符の開発</p> <p>2 「周遊マップ作成」 ・実施主体:日光市 ・内容:今までになかった日光～会津地域の広域マップの作成。地域の観光施設や周辺情報を掲載予定</p> <p>3 「湯めぐり手形発行事業」 ・実施主体:東武トラベル ・内容:日光～会津沿線温泉について、自由に入浴可能な「手形」を発行する。各温泉ごとに泉質・効能・効果的な入浴方法等を調査し旅客のニーズにあった温泉を選択できるよう調査を実施</p> <p>4 「手ぶら街中サービス拡充事業」 ・実施主体:4市町、各観光協会等 ・内容:温泉街の最寄り駅から宿泊場所までの手荷物宅配サービス。当該サービスは現在会津若松において実施しているが、日光～会津沿線でも拡充して実施する事業</p> <p>※その他、戦略検討合宿にて承認されたプロジェクトを実施する。 (活用を希望する制度:地方の元気再生事業の継続支援を要望)</p>

日光～会津観光軸元気再生プロジェクト

(栃木県日光市、福島県南会津町、下郷町、会津若松市)

— 日光～会津元気再生プロジェクト協議会 —

平成20年度 地方の元気再生事業
事業実施調書 参考資料

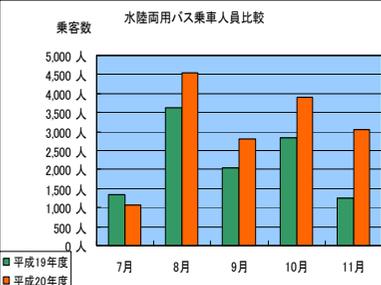
◆主な実施取組の内容◆

取組①日光～会津観光軸プレ活性化実験

実施主体(1)日光市・湯西川ダム工事事務所(水陸両用バス運行)
(2)東武鉄道・東武トラベル(「東武の会津」商品開発)
(3)JR東日本(「日光・会津街道物語」商品開発)

実施内容・結果

- (1)周辺4施設・4商店と連携し割引制度を導入。乗車数前年比約40%増加していると共に、約53%の乗客が当該地域へ宿泊
- (2)「ゆったり会津東武フリーパス」利用者昨年比約14%増加
(平成20年度上半期集計結果)
- (3)「日光・会津街道物語」商品開発し新たな観光流動を創造



東武グループ・JR東日本で商品化された日光～会津観光軸関連パンフレット

東武鉄道
ゆったり会津東武フリーパス
4月～9月販売枚数8,107枚
前年比114.1%

取組②日光～会津観光軸戦略検討合宿

実施主体:日光～会津観光軸元気再生プロジェクト協議会
実施内容・結果

平成20年11月及び平成21年1月に次年度以降に実施を予定しているプロジェクトを検討するため戦略検討合宿を実施。第1回目には**38団体延べ101人**が2日間にわたり**23プロジェクトの討議**を行った。

第一回日光～会津観光軸戦略検討合宿 主要プロジェクト一覧

- 日光～会津ぐるっとカード事業
日光地域と会津地域における公共交通機関(鉄道・バス・タクシー)の乗降車フリー切符の開発。
- 沿線地域の魅力出し事業
沿線限界集落(三依地区)の素材を磨き、地域の持つ魅力を磨いていく事業。鉄道割引切符開発とあわせて検討する。
- 手ぶら街中サービスの拡充事業
駅から宿泊場所までの手荷物宅配サービスを日光～会津沿線でも拡充して実施する事業。
- 湯めぐり手形発行事業
日光～会津沿線の温泉入浴フリー切符の開発事業。
- 周遊マップ作成事業
日光～会津地域の広域マップの作成事業。
- 歴史を活かした観光資源開発事業
地域の歴史資源を活かした観光資源開発事業。
- 地域ガイド育成プロジェクト
日光～会津地域を旅客に案内する人材を育成する事業。



第一回戦略検討合宿

など

◆取組実施による成果・今後の展開◆

最終的にはこのプロジェクトは「日光に来れば会津を回るものだ」、「会津に来れば日光を回るものだ」という意識を定着させ、広域の観光軸の形成を図るとともに、軸上の各地域の活性化を目標としている。そのためには、戦略検討合宿及び沿線首長サミットにより検討されたプロジェクトを実施主体だけでなく関連団体が連携をとり、効率的かつ円滑に事業を実行しなければならない。また、“発地”でのPRを実施するために新聞やWEBを活用した広報戦略を今後検討し実施していく予定である。